～教育方針から～

平成27年度に重点的に取り組む教育施策の方針

問い合わせ　教委教育総務課
☎229-3292　FAX229-3332
HP 津市　教育方針　検索

子どもたちが安心して学べる環境づくり、自らの力で幸せな将来を拓ける確かな学力の定着は、誰もが願う教育の姿です。もちろん、このために、市民の皆さんの声に耳を傾け、幅広い行政部門との連携を図りながらその推進に取り組んできました。

平成26年度は、市民の皆さんの教育に対する思いをより多く教育施策に反映できるよう、教育委員会と市長の懇談の場を設けて課題を共有し、学校のトイレ改修やプレハブ校舎の解消に向けた取り組みを進めることができました。また、教育委員会と市長部局が両輪となったいじめ防止対策の仕組みを整えてきました。子どもたちの豊かな可能性を具現化していくために、これからの教育施策は、教育委員会という枠組みを超えて、津市の教育施策という広がりの中で展開していく必要があります。そのためにも、平成27年度は、「新しい制度への着実な対応と重点事業の推進」「課題事項への前向きな取り組み」、そして「地域との広がりのある連携」に軸足をおいた教育施策を進めます。

新しい制度への着実な対応

教育委員会制度の改正

本年４月に新たに市長が主宰する「総合教育会議」が設けられ、市長が、「津市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」を策定することになります。今回のこの改正は、これまでの教員、子ども、保護者を中心とした教育施策の枠組みが、大きな広がりを持った「津市の教育施策」として推進する環境が整うことだと考えています。教育委員会としても、市長と十分な議論を重ね、それぞれの権限の中で市民に開かれた教育施策の推進に取り組みます。

子ども・子育て支援新制度

保育所や私立幼稚園との連携を図りながら質の高い幼児教育を進めます。その一方で、少子化による公立幼稚園の小規模化が大きな課題となっていますので、今後の公立幼稚園の適正規模や施設整備の在り方、また、福祉部門とも連携しながら幼保連携型認定こども園の整備に向けた検討に取り組みます。

重点事業の推進

小中一貫教育

- 総合的な学力向上のための手法として現在の５つの中学校区の取り組みを10校区に拡大し、９年間を見通したカリキュラムづくりを進めます。

全市で取り組む総合的な学力向上に向けた施策

- 「生きる力育成サポーター」の増員を図ります。具体的には、現行の安定した学習環境の確保を目的とする「教育課題対応型の講師」に加えて、各学校の学力向上を支援する「学力推進型の講師」を新たに配置することにより、総合的な学力の向上をめざします。
- 各学校が取り組む授業改善や教員の指導力向上を支援する「指導実践研究プロジェクト」を新たに４校で導入します。
- ＩＣＴを活用した分かりやすい授業のために、タブレット型パソコンを導入します。
- 各学校で取り組む読書活動の実効性を向上させるために、読書ファイルを全ての小中学校に導入します。

平成27年度の土曜日の教育活動

- 土曜授業と運動会や体験学習などの土曜活動を合わせて年８回程度実施

学校施設の整備

- 一志中学校の第二期大規模改造工事、戸木小学校の増築工事、プレハブ校舎の解消に向けた南が丘小学校の増築工事の実施

大規模改造工事中の一志中学校

- 豊が丘小学校など３校でトイレ洋式化工事の実施
- 学校のエアコン整備の実施(平成27年度にパソコン教室や図書室、遊戯室への設置が全校で終了)